

国際漫画シンポジウム展  
「臓器移植～いのちの贈りもの～」要綱

主催 特定非営利活動法人日本移植者協議会、鹿児島県移植の会  
共催（予定） 枕崎市、枕崎市教育委員会  
国際漫画シンポジウム実行委員会 FECO JAPAN  
後援（予定） 鹿児島県、鹿児島県教育委員会  
開催期間 平成26年 4月29日（火）～5月11日（日）  
開催趣旨

日本移植者協議会では、改正臓器移植法が施行されるのに合わせて全国各地で様々な普及啓発活動を行ってきました。

その一つとして当協議会としては初めて「臓器移植 ～いのちの贈りもの～」をテーマに世界の漫画家に以下のように呼びかけました。

「医学の進歩は人間の生命をめぐる新たな治療を生み出します。中でも移植医療は急速に進化し、多くのいのちを救い希望をもたらしています。

今回の国際漫画シンポジウム展のテーマは＜臓器移植＞です。臓器移植は善意によるいのちの贈りものであり、臓器移植について考えることはいのちそのものを考えることです。

世界各国の臓器移植に関する現状を、漫画家であるあなたの倫理観と人間愛によって描いて下さい。世界中の漫画家たちの作品が、新しい時代に戸惑う多くの人々に語りかけ、理解と議論を深めるきっかけとなることを願っています。」

この国際漫画シンポジウム展は、鹿児島在住の漫画家の坂井貞夫氏がコーディネーターとして、世界各地の漫画家に呼びかけて実現しました。世界16ヵ国から約80点の作品が寄せられました。どの作品も臓器移植、臓器提供をその作者なりに考え表現しています。それぞれが個性的であり、深く考えさせられる素晴らしい作品ばかりです。

初回、国際漫画シンポジウム展を鹿児島県歴史資料センター黎明館において開催致しました。このシンポジウム展では、厚生労働省、(社)日本臓器移植ネットワーク、日本移植学会のほか鹿児島県にもご後援をいただき、県内への広報にも多大なるご協力をいただきました。その結果、約千名の方が観賞され、大変ご好評をいただきました。その後、東京都庁南展望室で2回目の漫画シンポジウム展を行い、新潟、大阪と開催しております。

この国際漫画シンポジウム展が、一般の方々に今までと違った形で臓器移植、臓器提供を考えていただくきっかけになり、この展示会が少しでも鹿児島県下の移植医療の普及に役立つことを願っております。

展示内容 A4サイズにプリントし、各額に題名と作者及び国名を掲示

16ヵ国の作品に坂井貞夫氏などの作品を加え 合計約80点を展示  
及び昨年霧島市で行いました第22回全国移植者スポーツ大会の写真を展示します。